

## 皆さんの今後が楽しみになりました

秋田大学客員教授 濱田 純

各班の作品を読んで、オンライン授業4日間でここまでできるのか、と素直に驚きました。4日間の授業構想と多彩な展開がなした成果といってしまうとそれまでですが、これは馬居先生のある意味、オンライン授業への挑戦だったのではないかと思います。

それにしても、サポーター役の院生の皆さん、各班の皆さんお見事でした。今回の課題探求学習は皆さんの将来にとって、とてもよい経験になったと思います。

私は、これまでの実践の中から幾つかを選んで提示したのですが、対面授業と違って、教室の空気が読めず一方的になってしまいました。しかし、質疑応答では皆さんの的確な質問をしてくれ、手応えを感じることができ嬉しかったです。授業を終えた直後は皆さんと対面授業をしたかったというのが本音でした。

ところで自己紹介をする時間が無かったのでこの場をお借りしますが、私の専門は教師論・授業論です。教師として経験した校種は幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、定時制高校、大学と人間の成長過程に応じた授業実践に恵まれました。ここから得たものが私の唯一の宝物です。特に総合的な学習に関して言えば、幼稚園の遊びから始まり生活科、そして総合へと繋がっていきます。総合は特別支援学校では生きた力として働き、大学では今回皆さんが経験したとおりです。各教科等で獲得した知識を総動員して現実課題を探索・究明することにより、各教科等で得た知識が現実問題の中でより生きて働くようになることを今回の授業で経験したと思います。

私は何事も対面を基本にしています。授業の教材フィールドへ出向いて教材化研究をしてきました。実際に歩き、人に話を聞き、調べ、その上で全国的なデータと比較検討をし、また現場に出向くという繰り返しをし、その上で授業に臨みます。授業はスパイラルな探究的学習過程（課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現）に修練されますが、その探究過程に実体験が加わると、データのみからは見えてこない現状と課題解決の糸口を見いだすことができます。今後はデータのみでの整理・分析には弱点があることも心にとめておいてください。そして総合は正解が一つではありません。一人一人が獲得する資質・能力が正解なのです。今回は皆さんがそれぞれの経験則を元に、専門的知見を駆使し、異なる仲間と議論していました。その結果、自分の考えが変容し、新たな知見を獲得していくといったことが実際に起きています。これこそが総合の醍醐味的一端です。この授業経験は直近では卒業論文に、そしてその後の進路にも必ず生きてくると思います。

今後の活躍を期待しています。